

教えずに学ばせる授業

— 自律学習プログラム入門 —

■講師



坂田 浩
(徳島大学 国際センター 准教授)

1994年3月 福岡教育大学 教育学研究科英語教育専攻修了
1996年4月 徳島大学総合科学部 講師
1998年4月 徳島大学総合科学部 准教授
2002年4月 同大学国際センター 准教授

■プログラム概要

英語教員が学生から打ち明けられる悩みの中でも、「英語の勉強をしようと思っているんですが、なかなか続かなくて…」、「英語の勉強をやり始めたんですが、良い勉強方法が見つからなくて困っているんです…」といった学習方略に関する悩みは、よく耳にするものではないかと思えます。今回紹介する「Learning How to Learn」は、そのような悩みを持つ学生の継続的で自律的な英語学習を支援するために作られたワークシートで、授業中の学習支援だけでなく、授業外での学習カウンセリングなどでも広く応用できる可能性を十分に秘めていると考えています。

自律学習は、学習のプランニングや見直し、学習行動の形成・維持を重視する点で、自学・自習とは異なります。本ワークシートは、ビジネスや人材育成の場面で用いられているセルフ・コーチングという考えを基に、(1)将来のビジョンを作る、(2)学習目標を設定する、(3)学習計画を策定する、(4)学習を実践する、(5)評価・修正を行う、(6)学習を習慣化する、という6つの項目を基に構成されています。実際のワークシートでは、上記の1～5項目に対応するワークが準備されており、例えば「将来のビジョンを作る」という項目に対しては「Future MyScope」を、「学習目標を設定する」に対しては「Can-do List」を、「学習計画を策定する」に対しては「3つの学習モジュール」というようなワークを準備しており、学習者が教員の支援の下、同じ学習目標を共有するクラスメートの意見も参考にしながら、効率的に自律学習を計画・実践できるように設計しています。

以上のように、今回は、上記「Learning How to Learn」の概要を中心に授業実践を紹介するものですが、全体のシラバスや実践上の工夫などについても紹介したいと考えています。本授業実践の効果については現在調査中ということもあり、具体的なものを提示するのは難しいかもしれませんが、学生からのフィードバックなどを基に、4年間にわたる本授業実践を通して見えてきたものについて報告するようにしたいと考えています。

■主な受講対象

自律学習について考えてみたい方、英語学習を始めてみたいと考えている方なら誰でも

■本プログラムの到達目標

1. 自律学習に対する具体的支援例を学ぶことができる
2. 自律学習、授業内学習、授業外学習の関連性について学ぶことができる
3. 参加者自らが抱く「学習」に対する固定概念を見直すことができる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月21日(水) 15:30~17:30
会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 共通教育講義棟 2階 23番教室
定 員 : 50名